

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	01-01-13-02
事務事業名	港湾建設事業	根拠法令・要綱等	
事業開始年度	昭和46年度～	問合せ先	都市整備課
総合計画	大項目 基本目標	担当事業(室)	都市整備課
	中項目 基本施策	職・氏名	管理係長 岸本豊弘
	小項目 施策	電話	0869-64-1833

事業の実施	対象(誰・何に対して)	港湾施設利用者
	目的(何のために)	港湾施設の整備を行うことにより、船舶の安全・迅速な利用の確保と利便性の向上を図る。
	行政活動(どのような方法で)	市内港湾施設の改修箇所を選定し、県・国に早期整備の予算措置の要望を行う。
	事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	県に要望し、港湾事業整備を実現させる。

事業の実績					
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	県工事要望件数	件	23	9	12
	県工事実施件数	件	13	7	3
	直接事業費	千円	37,974	45,063	25,408
	人件費	千円	1,850	2,805	1,043
	事業費計	千円	39,824	47,868	26,451
	国県支出金	千円			
	受益者負担	千円			
	一般財源	千円	39,824	47,868	26,451
	必要人員	人	0.20	0.30	0.11
結果指標①	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	県工事要望件数	説明	23	9	12
	結果指標量	人	—	—	—
	対前年比	%	—	39.1%	133.3%
	活動コスト	円	1,665,000	2,524,500	707,400
結果指標②	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	県工事実施件数	説明	13	7	3
	結果指標量	人	—	—	—
	対前年比	%	—	53.8%	42.9%
	活動コスト	円	38,158,998	45,343,500	25,743,600
単位当たりコスト	円	2,935,308	6,477,643	8,581,200	

事業の成果	成果指標名	県事業実施率	式又は説明	県工事実施箇所/県工事要望箇所
		17年度	18年度	19年度
	成果指標量	56.52	77.78	25
	対前年比	—	138%	32%
	到達目標値	70	到達目標年度	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
妥当性の評価	目的	<input type="checkbox"/> 関法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令) <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	妥当性評価<A~E> B
	対象	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 対象を見直す必要はない	課題認識
	行政活動	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	市内港湾施設で早期に整備が必要な箇所については、今後も県・国に要望を行い事業を進めていくことは妥当である。
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である <input type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	効率性評価<A~E> D
	手段	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	事業費は工事件数及び工事費により変動する。港湾施設の機能を維持向上するため引き続き整備が必要であるが、コスト・効率化のため市で優先順位を決め県に要望を行っている。しかし、更に効率性・市民への安全性を向上するためには整備箇所の一層の選定が必要である。
	職場	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> C
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	最も有効性のある港湾整備工事の推進を県に働きかけていき、毎年度目標値に近づけていく。

平成20年度の状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了	
目標値	結果指標量① 20	結果指標量② 15

総合評価	評価区分<A~E> C	
今後も整備箇所の要望は増加していくと思われるが、事業内容を見直すなどの改善を考慮しながら状況変化に応じた事業継続が妥当である。		

平成21年度以降の方向性	
<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	整備箇所の選定	次期要望時	事業費の削減及び人件費の有効利用
有効性	地域住民主体での選定	次期要望時	人件費削減